各　位

2020年1月10日

会社名　株式会社　吉野家ホールディングス
代表者名　代表取締役社長　河村　泰貴
（　コード番号　9861　東証一部）
問合せ先　ｸﾞﾙｰﾌﾟ財務経理本部長　鵜澤　武雄
（　TEL　03-5651-8800　）

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年４月11日に公表しました2020年２月期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

記

1．2020年２月期連結業績予想数値の修正（2019年３月１日～2020年２月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 208,000	百万円 1,000	百万円 1,500	百万円 100	円　銭 1.55
今回修正予想（B）	215,000	3,600	4,000	100	1.55
増減額（B－A）	7,000	2,600	2,500	-	
増減率（％）	3.4	260.0	166.7	-	
（参考）前期実績 （2019年２月期）	202,385	104	349	△6,000	△92.94

2．修正の理由

2020年２月期の通期連結業績見通しは、連結売上高は国内吉野家が牽引し、前回の予想を70億円上回る見込みです。吉野家において創業120周年施策として販売した、牛丼の新サイズ「超特盛」「小盛」、「特撰すきやき重」、「月見牛とじ御膳」などの商品施策や、６月に実施した「テイクアウト80円引き」などの販売施策も好評だったことに加え、消費増税が行われた10月以降も「牛丼・牛皿全品10％オフキャンペーン」や冬の定番「牛すき鍋膳」「麻辣牛鍋膳」などの施策が好調に推移しており、10月以降の既存店売上高も前年を大きく上回って推移しております。ニーズの異なる様々な客層に向け、そのニーズに応じた商品施策・販売施策を展開したことに加え、宅配サービス対応店舗の積極的な拡大を図るなど、様々な取り組みを継続的に実施することで売上高は順調に推移する見込みです。また、はなまる・京樽・海外セグメントにおいても、引き続き積極的な出店による規模拡大を進めてまいります。損益面につきましては、台風19号の影響が

あったものの、吉野家の増収やはなまるの収益向上に加え、2020年2月期の最重要経営課題とした、持続的な成長と本業の収益力の向上により業績の立て直しを図る「基盤整備」に向けて、グループ全体で様々な施策や取り組みを実行しており、その成果が着実に現れていることから、営業利益は前回予想を26億円上回る36億円、経常利益は前回予想を25億円上回る40億円と、当初予想を大幅に超過する見込みとなりました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2019年12月26日に開示した連結子会社の株式譲渡による影響や、前述の「基盤整備」に伴う構造改革関連費用の影響を現在精査中であり、現時点では前回発表数値の１億円からの修正は行わないこととといたしております。これらの与件等々が業績に与える影響を見極め次第、修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上